

宇都宮市立今泉小学校

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
目標(めあて・ねらい)の共有化と振り返る時間の確保	児童が意欲をもって授業に取り組めるような学習課題を設定していく。また、児童が課題を受け止め、見通しをもって学習に取り組み、授業の終わりには自らの学びを振り返る時間を確保できるようにする。	「児童が自らの学びを自覚し、学習への見通しを持つこと」を問う設問では、4学年中2つの学年の肯定的回答が、市の平均を上回った。
コミュニケーション能力の向上を目指した授業の工夫	授業の中で多様な形態で、自分の考えと友だちの考えとを比較し、対話できるような場面を設定していく。また、対話を通して学び合い、自分の思いや考えを表現できるような児童を育成していく。	児童の「他者の話を聞くこと」「根拠のある考えの提示」を問う設問では、4学年中2つの学年の肯定的回答が、市の平均を上回った。また、「主体的な対話への参加」「多面的多角的な思考」を問う設問では、4学年中1つの学年で肯定的回答が、市の平均を上回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

全国学力・学習状況調査の結果から、自分の考えをもち、その内容を説明する力を付けることが課題となっている。 とちぎっ子学習状況調査の結果から、根拠を挙げながら自分の考えをまとめたり、自分の考えと相手の考えを対比させ、共通点や相違点に着目する力を付けることが課題となっている。 学習内容定着度調査の結果も併せて考えられる次年度の方向性は、「学習のめあてを達成するための自分の考えを、根拠も踏まえてもち、協働的に学び合う中で、相手の考えと比較をしながら、自分の考えを深めていける」ような授業の展開を目指したい。校内研修で作成した授業展開モデル「今泉モデル」の実践とつなげて行う。
